



八坂中学校だより

令和4年7月26日(火)
7月号
大町市立八坂中学校

八坂中の生徒の良さって何だろう

7月26日(火) 2学期終業式校長講話より

74日の登校日数の1学期が終わりました。コロナウイルス感染症が徐々に拡大しつつありますが、皆さんの学びを止めることなく、終業式を迎えることができたことをまずは喜びたいと思います。

今、何点かの賞状をお渡ししました。部活動や授業など、さまざまな活動にみんなが真剣に取り組んだ成果です。

また、毎日の授業でも、楽しく真剣に取り組む皆さんの姿を見ては、大変うれしく、誇らしく、頼もしく感じました。

7月20・21日(水・木)は、自然教室がありました。1年生・2年生の皆さん、1日目は長畑砂防ダムを見学し、付近の草刈りも行いました。その後は、小学校5・6年生も合流して、食事作り、キャンプファイヤーなどを行いました。2日目は犀川ラフティングも体験しました。初めての行事で、うまくいかないことも時々ありましたが、うまくいかないことすらも楽しんでいる姿がありました。一緒にいて私もとても楽しかったです。

1・2年生が自然の中で楽しんでいる間、3年生はどう過ごすのか、「つまらない思いをしているのではないか」と私は少し心配でした。しかし、心配は必要ではありませんでした。3年生は自分たちでレクリエーションを企画し、1・2年生のいなくなった校舎を全部使って、ダイナミックに楽しんだそうです。



さて、この出来事を通して、私は、改めて八坂中学校の生徒の良さって何だろうと考えました。例えば、八坂中に全く来たことのない人に八坂中の紹介するとき、君たちのことをどういえばいいだろう。

例えば、「おとなしくて、まじめで、素直な生徒です」

それもそうだけど、私は、今、こんなふうに考えました。

「何事にもコミット (commit) する生徒」です。

commitは、「参加する、関係する」と翻訳されている辞書が多いですが、実際にはもっと深い言葉のようです。目標に向けて、自分は何ができるか、どうすればいいか、目標実現に向けて、自分のこととして参加する力をいいます。反対の言葉は「他人ごと」です。

八坂中学校の生徒は、commitする力が強いと思います。生徒会の当番活動をさぼる人はいない、授業にも全力で取り組む、授業の課題に向けて協働する、問いをもって学ぼうとする、八坂中の生徒が当然だと思っていることは、他の中学校では当然ではありません。みんなが、目標に向けてcommitしている姿はとても尊いし、八坂中の生徒の良さだと思います。

さて、明日からは夏休みです。皆さんは何に向けてcommitしますか。

心ゆくまで、自分の好きなことに没入したいと思う人もいるでしょう、他の目標に向けて努力しなければならないと考えている人もいるでしょう。

夏休み明けには、長い長い2学期が始まります。みんなの力が結集することが必要な「八坂ふれあい運動会」も、「やまびこ祭」もあります。皆さんのcommitする力を発揮してほしいと思います。楽しみですね。

では、夏休み明けの8月22日に、またみんな元気で会いましょう。